

## SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「海きららのクラゲ」を題材にした会話です。



- Nahoko Jellyfish are pretty.  
(クラゲってきれいだよね)
- Emily Yeah, just looking makes me happy.  
(うん、見ているだけで癒やされるよね)
- Nahoko Have you seen this jellyfish?  
(このクラゲ見たことある?)
- Emily No.  
(いいえ)
- Nahoko This is called Watage jellyfish.  
It can only be seen here.  
(ワタゲクラゲって言って、ここでしか見られないクラゲなのよ)
- Emily Wow, that's amazing.  
(わあ、すごいね)
- Emily & Nahoko See you!  
(またね)

広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール

- 第1土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50  
第2土曜 NCC 16:25～16:30 第2日曜 NIB 6:30～6:35  
第3土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50  
第4土曜 NCC 16:25～16:30 第4日曜 NIB 6:30～6:35  
毎週日曜 TVS 18:55～19:00

※上記内容を1カ月先行して放送しています。

※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週替わりで放送しています。

※YouTube版はこちらからどうぞ。



## 柚木トマト



柚木トマトは、昭和48年から栽培が開始されており、10月から1月までに旬を迎える県内でも数少ない秋冬抑制トマトです。

栽培を開始した当時は露地で栽培されていましたが、現在はメロンの後作としてハウスで栽培されています。

猛暑の時期に定植を行い厳しい環境で栽培を行うため、高い生産技術が必要とされますが、高冷地等の立地条件を生かし、部会員による長年の経験と技術の積み重ねによって、高品質なトマトが生産されています。国見水系の澄んだ水を使用して徹底した水管理を行うなど、糖度にこだわった栽培に取り組まれており、トマト本来のうま味が増し、果肉には糖度が凝縮されています。

このように恵まれた気候風土を利用し、丹精込めて作り上げられた柚木トマトは、市場でも高く評価されています。柚木トマトの特長は、硬玉で日持ちが良く、高温期でも安定した品質を保てることです。また、糖度が6度以上でありながら、酸度とアミノ酸のバランスが良いことも特長です。

そのまま食べてもおいしいですが、さまざまな料理にも活用できますので、皆さんの家庭でもどうぞお召し上がりください。

購入可能場所 柚木よかもん市 ☎ 46-2515

☎ 農業畜産課 ☎ 24-1111

## 人の動き (9月1日 現在)

- 総人口 240,704人 (前月比 - 403人)  
男性 114,201人 (-236人)、女性 126,503人 (-167人)
- 世帯数 104,761世帯 (前月比 - 87世帯)
- 8月中の動き  
転入 511人、転出 767人、出生 139人、死亡 286人

## 正しい情報を基に冷静に判断した上で新型コロナワクチンの接種をお願いします



新型コロナワクチン接種は、市民の皆さまのご協力はもとより、佐世保市医師会や看護協会、佐世保市薬剤師会など医療従事者の皆さまの献身的な使命感によって、これまでに対象者の約55% (9月7日時点)の方が2回目のワクチン接種を受けられていることに、心から感謝の意を表します。

このような中、全国では第5波 (主にデルタ株) による感染が拡大し、本市もその波に襲われました。8月27日 (金) には「まん延防止等重点措置」が適用され、長崎県から重点措置区域として長崎市と共に指定されました。

これを受けて長崎県からは、基本的な感染防止対策の徹底 (三密回避、マスクの着用、手指の消毒、定期的な換気) や移動・外出の自粛、会食の自粛、飲食店・大規模施設等への営業時間短縮、イベント等の制限などが要請され、市民や事業者の皆さまには大変なご負担をお掛けすることになりました。

9月12日 (日) には「まん延防止等重点措置区域」の指定が、30日 (木) には県独自の「緊急事態宣言」の指定が解除されましたが (9月10日時点での予定)、本市の2回目のワクチン接種率が8割を超えるには、10月末から11月ごろまで時間を要すると思われます。ワクチンの接種がまだで、これから接種を希望する方は、病院や診療所などでの「個別接種」や佐世保港国際ターミナルビルで実施している「集団接種」、その他長崎県が臨時に実施する「大規模接種」

を予約していただき、接種を受けていただきますようお願いいたします。

ところで、SNS などではワクチンに関するさまざまな情報が拡散されており、不安をあおるような情報もあるようです。しかし、ワクチンが重症化率や死亡者数の減少に効果があることは、日本だけでなく世界各国の公的な機関によるデータによって示されています。

まだワクチンを接種していない方や接種を迷われている方は、「ワクチン=危険」などといった情報だけで判断せず、国や県、市などの公的な機関が発信する情報も確認し、冷静に判断していただきますようお願いいたします。

また、「ワクチン接種」は自分のためだけでなく、自分の大切な家族や友人、知人などのためでもあり、ひいては社会のためでもあります。市民の皆さまにはご協力をお願いすると同時に、まだワクチンを接種していない大切な方に接種の検討を勧めていただきますようお願いいたします。

本市では、9月末に12歳～15歳の方へ接種券 (クーポン) を送付し、ワクチンを接種できるようになりましたので、保護者の皆さまはご検討をお願いいたします。

なお、さまざまな事情でワクチン接種を受けられない方がいることも忘れてはなりません。接種を望まない方に接種を強制したり、接種を受けていない方への差別や偏見、<sup>ひぼう</sup>誹謗中傷を行ったりすることのないよう、重ねてご理解とご協力をお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

## 家事などは夫婦共同で分担を

私たち夫婦は昭和46年5月に佐世保市内で結婚し、こととして50年になりました。これは、多くの皆さんにお世話になったおかげであると感謝しています。

新婚旅行では当時人気があった宮崎県へ行き、その時2人で約束したことがありました。家事のうち、朝食は私が夕食は妻が作り、子育てや掃除、洗濯などは共同で分担して行うというものでした。それから50年の時が過ぎましたが、現在でもその約束を守り続けています。

夫婦で家事などを適度に分担して生活習慣とすることができれば、子どもや孫も自然とその姿を受け入れてくれるのではないのでしょうか。私は、「家庭は家族の信頼と愛情があり、大人が手本を示すことで子どもの徳育が育まれる」と思っています。

若い夫婦の皆さんに助言をさせていただけるのであれば、「家事や育児などについては夫婦でよく話し合い、片方だけが不満を募らせないようにバランスよく分担して行ってください」とお伝えしたいです。皆さんのより良い生活を心から願っています。

(匿名希望)

## 「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

☎ 佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856